（様式２）

特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報（事後公表）

|  |  |
| --- | --- |
| 議題 | 副首都・大阪の確立、発展に向けた取組みについて |
| 日時 | 平成30年７月2７日(金)　 1１時00分　～　12時00分 |
| 場所 | 中央大学駿河台記念館 |
| 出席者 | (特別顧問・特別参与)：佐々木特別顧問(職員等)：副首都推進局副首都企画推進担当部長、企画担当課長代理 |
| 論点 | 〇副首都ビジョンの取組み状況（首都機能バックアップ）について〇大都市制度の経済効果に関する調査結果について |
| 主な意見 | 〇副首都ビジョンの取組み状況（首都機能バックアップ）について・大規模な災害に備えて、災害が起こってからではなく、平時のうちから動くということは一番大事なことの一つ。首都機能バックアップについて、東京でも大きく取り上げられるよううまい仕掛けを。〇大都市制度の経済効果に関する調査結果について・今回の報告は、経済学の一般的な手法で算出されており、妥当な数字が出ているのではないか。総合区と特別区、それぞれの制度の違いがよく表れている。・今回の試算では出ていないが、特別区になればそれぞれの競争がおこり、まちづくりや自治体の改革などで相乗効果も生じてくるのではないか。 |
| 結論 | ご意見を踏まえ、引き続き検討を進める。 |
| 説明等資料 | 〇大阪・関西による首都機能バックアップの実現に向けた取組みの方向性について〇大都市制度（総合区設置及び特別区設置）の経済効果に関する調査検討業務委託報告書<http://www.city.osaka.lg.jp/fukushutosuishin/page/0000441469.html> |
| 備考 |  |
| 関係部局（室課） |  |